

第3回 苧田町財政健全化検討会議でのご質問に対する回答

議題1：行政サービスによる歳出削減の方向性、目的別歳出の現況、苧田町の単独事業

Q1

- (行政サービスに関する) 事業の見直しは、公債発行対象経費か一般財源対象経費かで見ても良い
→前回紹介した苧田町行政サービス(単独事業)の一覧は、一般財源対象経費で実施
→単独事業、補助事業の違いをベースに優先順位を決める。ただし、公共施設の維持・更新を含めて、見直しの際には、公債発行対象経費/一般財源対象経費の違いも順位決めにも反映させる。報告書ではこのエッセンスを記述

Q2

- (行政サービスに関する事業が) 補助事業であっても、見直しは可能である。検討対象から外すのはどうか
→単独事業を優先的に見直すが、補助事業を「外す」ことはしない。補助事業も見直し対象であることを報告書に明記

Q3

- (行政サービスに関する事業について) 広域でやっていくというのを取り上げるのであれば、連携中枢都市圏を含めて、広く比較した方が良い
- (行政サービスに関する事業について) 広域化と利用料金というものをリンク
→既に共同利用をしている施設(利用料金は苧田町民と苧田町民以外で差別化)している
→連携中枢都市圏を含めた比較、利用料金とリンクすることといった考え方については、サービスや施設の種類によって、各論レベルで個別に検討する。方針については、報告書に記述

Q4

- 国は、行政サービスに関する交付税算定の方法をトップランナー方式に変更。トップランナー方式に挙げられている項目については、検討されてはどうか。
→「平成28年度トップランナー方式」で取り上げられた対象業務の多くは、苧田町では既に外部委託や指定管理者制度により実施している(本資料3頁参照)
→経費水準の見直しについては、個別事業ごと(各論レベル)で検討する。この方針については、報告書に記述

Q5

- 利用料をとっているような事業に関しては運営権まで含めて検討してはどうか
→具体的には個別サービスの検討段階(各論レベル)で検討する

議題2：歳出削減（事業内容の見直し 事例：ごみ処理）

Q6

- ごみ処理に関する基本指標や歳入の状況に関する数値について
 - ① 数値の誤りに関して、**本資料3・4頁にて訂正**
 - ② 他所へ焼却委託している自治体で、焼却処理のごみ処理量が計上されているのはなぜか
 - ごみ処理量は、各自治体で収集され処理施設へ搬入された量であるので、処理を委託している場合であっても、処理量として計上されるため
 - ③ 建設改良費が計上されていないのに国庫支出金が計上されている自治体があるのはなぜか
 - 建設改良以外の各自治体の個別事案において、国庫支出金が支出されている状況にある
 - ④ 建設改良費が計上されているのに国庫支出金が計上されていない自治体があるのはなぜか
 - 同条件にあてはまる県下の自治体は、いずれも「建設改良費組合分担金」として計上

議題4：歳出削減（利用料金の適正化）

Q7

- PFI や PPP については、大阪市はほとんど PFI を行っていない。参考にするのは、PFI を多く行っている自治体にしていただきたい。福岡市などでもやっている
- PFI について、企業のノウハウを活用するという意味での民間委託にもやり方が様々ある。多様な見方をした方が良い
- PFI というより PPP の部分で、住民と共同する形で小さい規模で小さい額で委託するのが良い（宗像市など、教育や福祉の分野で参考になるのでは。経費削減だけではなくサービス向上でも成果）

→中間報告（報告書）で紹介する事例を変更の予定

→PPP/PFI だけに拘らず、「民間の知恵をどう生かすか」という切り口で事例を紹介

Q8

- 35 頁の表については、公費で負担すべきもの、受益者負担でいくら賄われたのかを見るために、運営費に対して、公費、受益者負担がどれだけのかを一覧を示していただきたい

→（本資料5頁参照）

Q9

- 温水プール単体を見直すのではなくて、町全体のプールを見て見直し

→具体的には個別サービスの検討段階（各論レベル）で実施

Q10

- 高齢者のための生活習慣病予防・改善については、宮崎県の国富町で先進的な取り組みがある

→中間報告（報告書）では事例紹介の予定

→具体的な検討は、個別サービスの検討段階（各論レベル）で実施

Q4 トップランナー方式の対象事業と苅田町の状況

平成28年度トップランナー方式の見直し内容【市町村分】						
対象業務	基準財政需要額の算定項目	見直し内容			見直し年数	基準財政需要額の算定基礎とする業務改革の内容
		経費水準の見直し		経費区分の見直し (給与費→委託料等)		
		見直し前	見直し後			
◇学校用務員事務 (小学校、中学校、高等学校)	● 小学校費 ● 中学校費 ● 高等学校費	3,707(千円/1校) 3,707(千円/1校) 7,353(千円/1校)	2,927(千円/1校) 2,927(千円/1校) 6,152(千円/1校)	○ ○ ○	5	
◇道路維持補修・清掃等	● 道路橋りょう費	153,607(千円)	139,129(千円)		3	
★本庁舎清掃 ★本庁舎夜間警備 ★案内・受付 ★電話交換 ★公用車運転	● 包括算定経費	55,483(千円)	44,359(千円)	○	3	民間委託等
★一般ごみ収集	● 清掃費	192,962(千円)	据え置き	○	-	
● 学校給食(調理)	● 小学校費	20,255(千円/1校)	据え置き	○	-	
● 学校給食(運搬)	● 中学校費	12,782(千円/1校)	据え置き	○	-	
★体育館管理 ★競技場管理 ★プール管理	● その他の教育費	31,370(千円)	29,441(千円)	○	3	指定管理者制度導入、民間委託等
● 公園管理	● 公園費	51,569(千円)	据え置き	○	-	
● 庶務業務 (人事、給与、旅費、福利厚生等)	● 包括算定経費	庶務業務として特定せず 包括的に算定	11,398(千円)の減	○	5	庶務業務の集約化
★情報システムの運用 ★住民情報関連システム、税務関連システム、福祉関連システム等)	● 戸籍住民基本台帳費 ● 徴税費 ● 包括算定経費	17,586(千円) 32,030(千円) 36,204(千円)	13,265(千円) 24,160(千円) 27,309(千円)	○ ○ ○	3	情報システムのクラウド化

Q6 事業内容の見直し(ごみ)・訂正版①

7. 事業内容の見直し(ごみ)
1) 各自治体のごみ処理の状況

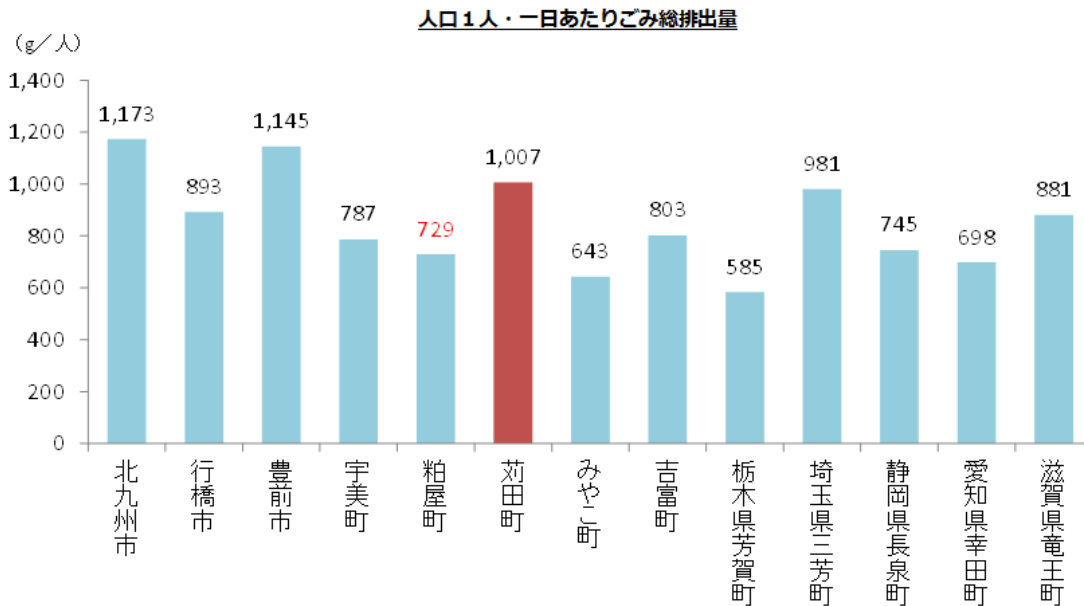
第3回資料訂正版

ごみ処理に関する基本指標

		単位	北九州市	行橋市	豊前市	宇美町	粕屋町	苅田町	みやこ町	吉富町	橋本県 芳賀町	埼玉県 三芳町	静岡県 長泉町	愛知県 幸田町	滋賀県 竜王町	
総人口(住民基本台帳人口)		人	977,487	72,858	26,935	37,659	45,005	36,135	21,106	6,881	16,134	38,263	42,464	39,332	12,569	
【ごみ排出量】	実数															
	生活系ごみ搬入量	トン	192,509	16,559	6,882	8,884	9,741	10,352	4,516	1,710	2,246	8,737	9,512	6,909	2,350	
	事業系ごみ搬入量	トン	198,443	6,182	4,336	1,930	2,230	2,502	436	306	720	4,967	2,042	1,623	1,692	
	集回回収量	トン	27,674	1,006	36	0	0	428	0	0	477	0	0	1,485	0	
比率																
ごみ総排出量(合計)	トン	418,626	23,747	11,254	10,814	11,971	13,282	4,952	2,016	3,443	13,704	11,554	10,017	4,042		
生活系ごみ搬入量	%	46.0%	69.7%	61.2%	82.2%	81.4%	77.9%	91.2%	84.8%	65.2%	63.8%	82.3%	69.0%	58.1%		
事業系ごみ搬入量	%	47.4%	26.0%	38.5%	17.8%	18.6%	18.8%	8.8%	15.2%	20.9%	36.2%	17.7%	16.2%	41.9%		
集回回収量	%	6.6%	4.2%	0.3%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	13.9%	0.0%	0.0%	14.8%	0.0%		
【ごみ処理量】	実数															
	施設処理	焼却処理	トン	372,561	21,685	9,649	0	0	4,562	1,733	2,386	11,296	8,495	7,125	3,744	
	中間処理	トン	33,884	3,003	1,526	9,984	11,968	12,738	268	296	244	1,100	1,085	1,431	141	
	小計	トン	388,322	23,576	11,126	9,984	11,968	12,738	4,804	2,014	2,366	12,001	9,580	8,525	3,805	
	直接資源化量	トン	68,448	32	0	704	0	31	262	0	108	1,932	1,543	7	230	
	直接最終処分量	トン	2,419	0	0	0	0	0	0	0	0	0	430	0	6	
	合計	トン	459,189	23,608	11,126	10,688	11,968	12,769	4,866	2,014	2,474	13,933	11,553	8,532	4,041	
	比率															
	施設処理	焼却処理	%	81.1%	91.9%	86.7%	0.0%	0.0%	93.8%	86.0%	96.4%	81.1%	73.5%	83.5%	92.7%	
	中間処理	%	7.4%	12.7%	13.7%	93.4%	100.0%	99.8%	5.5%	14.7%	9.9%	7.9%	9.4%	16.8%	3.5%	
小計	%	84.6%	99.9%	100.0%	93.4%	100.0%	99.8%	94.6%	100.0%	95.6%	86.1%	82.9%	99.9%	94.2%		
直接資源化量	%	14.9%	0.1%	0.0%	6.6%	0.0%	0.2%	5.4%	0.0%	4.4%	13.9%	13.4%	0.1%	5.7%		
直接最終処分量	%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	0.1%		

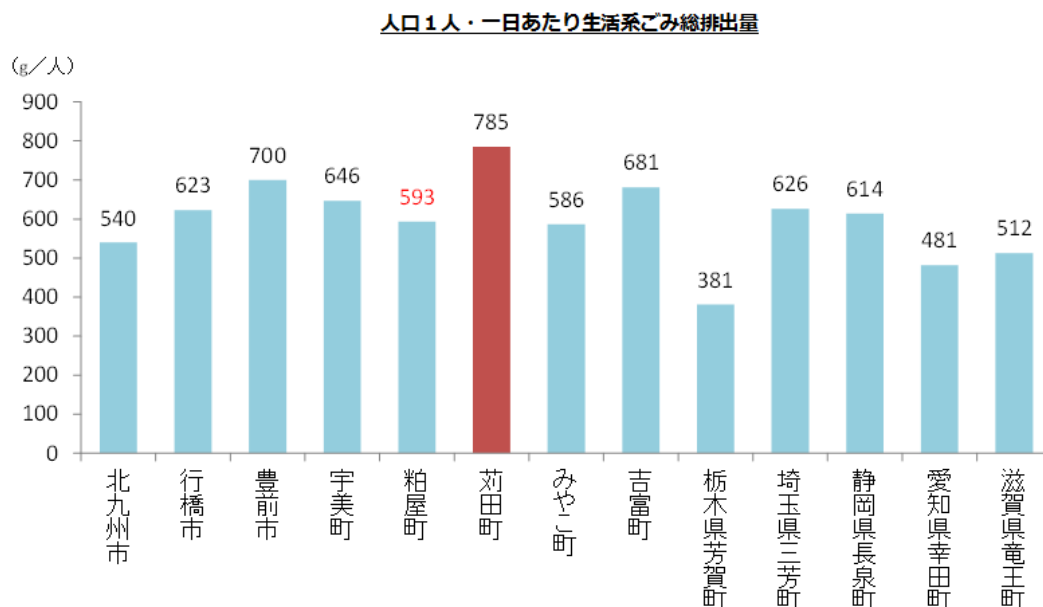
資料) 環境省「平成26年度 一般廃棄物処理実態調査」

7. 事業内容の見直し(ごみ) 2) 人口1人あたりごみ総排出量



資料) 環境省「平成26年度 一般廃棄物処理実態調査」

7. 事業内容の見直し(ごみ) 3) 人口1人あたり生活系ごみ総排出量



資料) 環境省「平成26年度 一般廃棄物処理実態調査」

Q8 苅田町の行政サービスにおける公費負担割合（第3回検討資料③スライド35）

事業名	現状	事業内容	目的別	金額(26年度 決算ベース、千円)	開始時期	H26 公費負担割合	
放課後子どもひろば事業	見直し中	放課後の子どもたちの安全で健やかな居場所づくり	民生費	21,879	平成23年4月	99%	保健料以外、町が全額負担
少子化対策保育料補助事業	見直し中	保護者に対して、第3子目以降の児童にかかる保育料の軽減を図るため半額の給付を行う	民生費	13,025	平成17年4月	50%	町負担50%
地域ふれあい支えあい事業助成		①訪問見守り活動 ②ふれあいいきいきサロン活動 ③地域の福祉問題解決のために必要と思われる活動	民生費	12,603	平成20年度	100%	住民負担 0
長寿祝金支給事業	見直し中	苅田町在住の高齢者の長寿に対してお祝い意を表し、長寿祝金を支給する。	民生費	11,870	平成13年度	100%	給付事業
コミュニティバス運行委託事業		苅田町内4ルート及び白川接続線のコミュニティバスの運行	総務費	36,725	平成17年9月20日	77%	料金 11,205千円 H27料金値上げ(67%)
町民温水プール維持管理事業	見直し中	町民温水プールの管理等	教育費	42,510	平成23年	66%	料金別途 22,205千円
語学指導助手配置事業	見直し中	小中学校の英語事業の補助のため、外国語(英語)指導助手を配置する事業。(小学校5人中学校2人)	教育費	31,026	平成17年	100%	教育費用
ごみ収集袋配布事業		ごみ収集袋の無料配布	衛生費	20,125	平成8年	100%	(袋費用)無料配布
がん検診事業	見直し中	胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がん、結核検診の実施 対象年齢 胃がん:30~39歳, 40歳以上 乳がん:30~39歳, 40歳以上(マンモグラフィ) 子宮頸がん:20歳以上 前立腺がん:50歳以上 結核検診:16歳と19~39歳	衛生費	18,947	昭和60年4月	67% 100%	町負担2/3 70歳以上は無料
インフルエンザ等の任意予防接種事業	見直し中	妊婦、0歳~18歳の予防接種自己負担の補助	衛生費	11,918	平成22年4月	68%	個人負担1,100円×5,055人
ニコニコベース運動実践教室(健康増進室運営事業)	見直し中	ニコニコベース運動の普及生活習慣病予防・改善のための「教室」の開催と一般利用者の指導管理	衛生費	11,909	平成11年4月	81%	1回100円×22,808人
デニスコート	見直し中	無料				100%	無料